

令和7年9月11日

保護者各位

鳥栖市立鳥栖北小学校
校長 長尾 真司

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和7年度全国学力・学習状況調査について

令和7年4月17日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- 調査問題では、①と②が一体的に問われています。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

ほとんどの問題において平均正答率が全国を上回り、よく理解できています。学習指導要領で示される評価の観点で見ても、「知識・技能」「思考・判断・表現」のどちらも全国を大きく上回っていました。中でも、「話すこと・聞くこと」の領域において、話し合いの内容を短い語句や図を使って理解したり、話し手の話の内容を整理して捉えたりする力が身につけているようです。一方で、「読むこと」の領域において、目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけ出す力は、全国を下回っており、課題がみられました。

(2) 算数について

ほとんどの問題において平均正答率が全国を上回り、よく理解できています。学習指導要領で示される評価の観点で見ても、「知識・技能」「思考・判断・表現」のどちらも全国を上回っていました。中でも、図形の性質を理解したり、問題解決するために式や言葉を用いて説明したりする力は平均正答率が全国を大きく上回っていました。一方で、計算力は十分身につけているものの、与えられた数字や計算で導かれた数字が、「基本となる量のいくつ分」や「全体の中のどれくらい」というように「量」として捉える問題の正答率が低く、計算の意味を正しく理解して活用する点に課題が見られました。

(3)理科について

およそ半分の問題において平均正答率が全国を上回っていました。中でも「思考・判断・表現」については、平均正答率が全国を大きく上回っていました。問題を解決する方法を見出したり、それを図や文章で表現したりする力が高いようです。一方で「知識・技能」については、平均正答率が全国を下回っていました。問題を詳しく見てみると、乾電池のつなぎ方や顕微鏡の使い方など、基礎的な知識や技能の定着に課題があるようです。基礎的な知識・技能の定着により、より一層の学力の伸びが期待できます。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問調査結果から見える本校児童の姿

今回、調査の対象となった国語、算数、理科全てにおいて、「好き」「内容が分かる」「社会に出て役に立つ勉強である」と答える児童の割合が全国平均を大きく上回っていました。友達の意見を聞いて自分の考えを深めたり、友達と協力して課題を解決したりすることを好み、価値を見出している児童の割合も同様です。学習を前向きに捉え、友達と学び合う楽しさや喜びを感じる力が、高い学力につながっていると思われまます。

また、生活のようすについての質問では、毎日朝食を食べて登校している児童や、就寝時間と起床時間が毎日変わらない児童の割合も、全国平均を上回りました。家庭での良好な生活習慣の継続が、本校児童の学力向上にとっても良い影響を与えていることがうかがえます。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・より主体的に学習に取り組むことができるよう、自分の考えをもち、それを話したり書いたりして表現できる場面を多く取り入れた授業を展開します。
- ・友達と協力して学び合える温かい雰囲気作りに努めます。
- ・児童が安心して学習できるよう、1時間の学習の流れをできる限り統一したり、電子黒板を活用して内容を視覚的に捉えさせたりして、授業のユニバーサルデザイン化に取り組みます。

・家庭でも次のようなことに心がけてください。

1 家庭での学習時間をつくってください。

【学習時間：10分×学年数字（「家庭学習の手引き」参照）】

- ◎学習する時間や時間帯を決め、取り組ませることで学習習慣を身に付けさせましょう。
- ◎テレビを見る時間やゲームをする時間を決め、長時間にならないようにしましょう。
- ◎苦手教科やテスト直し等復習を中心とした自主学習に取り組ませましょう。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

- ◎早めに就寝、早めに起床させ、必ず「朝食」を食べさせるようにしましょう。
- ◎学校での出来事や読んでいる本の内容について話し合ひましょう。
- ◎お子さんががんばったことや良くできたことを、積極的にほめましょう。